

第1回 京築・行橋・田川圏域流域治水協議会 ・ 第1回 南筑後圏域流域治水協議会  
合同協議会 議事概要

実施日:令和3年5月26日(水)10:00~11:00

場所 :福岡県庁行政特9会議室 及び Web 会議(「Webex」を利用)

出席者:別紙の通り

議事 :(1)協議会設立について

- 1) 協議会設立趣旨(案)について
- 2) 協議会設立の背景について
- 3) 流域治水について

(2)協議会規約(案)について

(3)今後のスケジュール(案)について

議事概要:

(1)協議会設立について

- 1) 協議会設立趣旨(案)について

設立趣旨(案)について事務局より説明し、了承が得られた。

- 2)協議会設立の背景について

近年、全国各地で自然災害が頻発し、県内においても平成29年から4年連続で大雨特別警報が発表され、毎年のように観測史上最大や記録的豪雨により各地で浸水被害が発生していること、また、国土交通省の諮問機関である社会資本整備審議会により、令和2年7月に「気象変動を踏まえた水災害対策のあり方について」の答申がとりまとめられ、流域全体で治水対策を行う「流域治水」への転換が示されていることを事務局より説明した。

- 3)流域治水について

流域治水の基本的な考え方や対策例について事務局より説明した。

流域治水プロジェクトの概要や一級水系のプロジェクトの事例について事務局より説明した。

(2)協議会規約(案)について

協議会規約(案)について事務局より説明し、了承が得られた。

(3)今後のスケジュール(案)について

今後のスケジュール(案)について事務局より説明した。

## 出席者からの流域治水に関する主な意見について

### 大牟田市 関市長

- ・市は、令和2年7月6日からの記録的豪雨により、大規模な浸水・土砂崩れが起こり、人的被害や多くの住宅の床上床下浸水など甚大な被害が生じ、市民生活に深刻な影響を及ぼした。
- ・市は、ポンプ場の増強や排水路の拡張、河川・水路・側溝及び調整池の浚渫、浸水状況把握のための監視カメラの設置、消防本部・消防団へのボートの追加配備、テレビの文字データ放送や無料通信アプリラインを活用した新たな広報手段の追加や、昨年の豪雨災害における浸水実績マップを全戸へ配布するなど取組みを進めている。また、今年度から2か年かけて、「排水対策基本計画」を策定予定。
- ・市が管理するポンプ場や、市営河川の排水先が県営河川であることから、市と県が連携し治水対策を進める必要がある。
- ・諏訪川については、熊本県の南関町・荒尾市から大牟田市へ流れ込んでいるため、福岡県、熊本県、近隣市町と連携のうえ、効果的な治水対策を進める必要がある。

### 添田町 寺西町長

- ・町は、平成29年の九州北部豪雨で大きな被害を受けた。災害後の河川への土砂堆積が非常に多く、本協議会において、森林管理も含め、土砂や流木の流出対策について連携を図っていききたい。
- ・今川流域の行橋市、みやこ町、赤村、添田町では、市町村連携プログラムを設け、流域住民、市民団体と連携し、流域の維持管理に取り組んでいる。

### みやま市 松嶋市長

- ・令和2年7月豪雨により、市は、山間部、河川部ともに甚大な被害が生じた。
- ・本協議会により、それぞれの自治体、県、気象庁等と連携を図ることができ、防災・減災に取り組んでいきたい。
- ・水門操作を地元の方々をお願いしながら、先行排水が行えるよう組織化を進めているところであり、お互いに情報共有を図りながら、治水にしっかり取り組む。

### 吉富町 花畑町長

- ・町は、佐井川の下流に位置し、上流で雨が降ると一気に水嵩が上がり、越水のリスクがある。そのため、土屋橋のたもとには、監視カメラを設置し、役場からの監視を行っている。
- ・本協議会により、隣接市町と協力・連携をし、流域治水をしっかりと考え、災害が起きない対策を図っていききたい。

